

「雨が降ってきたー」

中田 花蓮（なかた かれん）3歳

幼保連携型認定こども園 むつみ保育園（東北教区）

おともだちとの初めての水遊びを楽しんだ時、じょうろから流れ出た水を見立てて「雨が降ってきたー」と喜んでいた瞬間なのだそうです。「気持ちよかったねえ」とおともだちと話しながら、ダイナミックに描き上げていったそうです。水遊びをしたことを思い出しながら、中でも、雨のように水が自分たちに降り注いだことが強く印象に残ったのでしょう。最初にパスで描いた線も、とても勢いよく迷いがありません。

花蓮さんは、単に水遊びの経験を再現して描いているわけではありません。描くという行為を通して、今一度、想像の世界の中で水遊びを楽しんでいるのです。だからこそ、表情も線もいきいきとしています。先生は、こどもたちの描く内容や、まだまだ不慣れた絵具を使うことも含めて「その時の気持ちを素直に表現できるよー」心がけ「自由に伸び伸びと描くことを一番に考え見守るようにしました。」と述べておられます。保育者としてとても大切な事ですね。

●表紙のこたば●



おお はし いさお
大橋 功

和歌山信愛大学